

学びは常に玉川の丘に用意されています。  
通信教育部で学んだ先輩を中心に、現在の仕事や地域での活躍をインタビューします。

# 生涯学へ第9回 科学の世界を広く伝える役割



あいざわ たけし  
相澤 毅 蒲郡市生命の海科学館学芸員  
2000年通信教育部で学芸員資格取得・01年司書資格取得

2006

米国のスミソニアン博物館へ。玉川大学キュレーターズに同館の元研究員がいて、案内してもらった。誇りを持って働くスタッフの姿に圧倒された



「博物館で働きたい」という夢がなかったのは、四五歳のとき。ちょうど一年前の春、愛知県蒲郡市にある「生命の海科学館」に学芸員として採用されました。

ここは地球の歴史を実物の隕石や化石に触れながら学べる博物館で、カンブリア紀の化石が充実しています。約五億四、〇〇〇万年前、さまざまな動物が急激に進化し、「生命の大爆発」と呼ばれた時代の生き物に魅かれる私が、いつか訪ねたいと思いついてきた科学館。なんとその博物館で学芸員の募集があったことで、まさに人生でも「大爆発」のような転機を迎えたのです。

子どもの頃から生き物が好きで、野山で昆虫を捕まえては虫カゴに並

2010

東京のNHK放送博物館で行われた玉川大学キュレーターズの学習会。学芸員の資格取得後も会に参加することで見聞を広めることができた



たため、両立できる職場へ転職。二〇〇三年に父を看取ってからは、博物館の求人を探しながら、さらに八年の歳月が過ぎたのです。

二〇一一年一月、たまたま学芸員の求人サイトを見ていると、「生命の海科学館」が非常勤で一人募集していました。前から興味があった博物館だけに胸は躍ったけれど、応募する決心はなかなかつかなかった。すでに結婚して、一歳の子どものもいたので、東京を離れることに躊躇したのです。それでも私の夢を見守ってくれていた妻が、「受けてみた

触れて、見て、体験しながら、科学に親しんでもらおう。  
身近な興味につながる伝え方を心がけています。

ら！」と背中を押してくれました。学芸員として働いた経験はなかったけれど、博物館を見るなかで感じてきたこと、何よりカンブリア紀の生き物に魅かれる思いを面接で語ったところ、思いがけなく採用された。家族三人で蒲郡へ引っ越し。初めて暮らす街ですが、海と山に囲まれた自然豊かな環境で、子育ても楽しんでいます。

現在、私は生き物担当の学芸員と

べ、飽きずに眺めていました。触角や手足など、虫眼鏡で観察している

と、ええつ、こんな形の生き物があるの？と、ワクワクするような発見がある。私の出発点でした。

鳥根大学の生物学科へ進むと、動物形態学を専攻。大学院では宍道湖に生息するハゼの研究をしました。卒業後は東京へ帰って、環境調査の会社へ就職。ダムや湖でプランクトンの調査に携わっていました。

生き物と関わる仕事に望んで就いたものの、次第に、他の世界をあまりに知らなすぎる自分が気になっていく。仕事の傍ら、何か違う分野を勉強したいと考え始めた頃、学芸員の資格取得を思い立ちました。博物館は見るのも好きだったので、資格

として、生命の進化を解き明かす展示の解説をしたり、子どもたちと化石のレプリカをつくるワークショップなどを開催しています。

市内の小学生と海岸へ出かけ、ヤドカリやカニなど三河湾に棲む生き物の観察や磯遊びをする環境学習も好評で、「インギンチャクは、なぜ岩にくっついてるの?」「プランクトンはどうして増えるの?」といった質問に答えると、お礼の手紙が届く。人に教えることも初めてで、この歳になって新しい経験ができる喜びを感じています。

を取っておけば、いつか生かせるのでは……とも考えたのです。

一九九七年に玉川の通信教育部へ入学。あの頃は自分の足で一歩一歩階段を登っていくような日々でした。自分で計画を立て、レポートや試験に取り組まなければ先へ進めない。こつこつ勉強を続け、ゴールを目指すことで達成感がありました。

三年がかりで資格を取れたときは、「博物館で働きたい」気持ちも強くなっていった。玉川大学には学芸員資格を目指す人や取得した人たちによる「玉川大学キュレーターズ」という自主学習団体があり、私も博物館見学や学習会に参加し、現場で働く人たちに刺激を受けました。しかし、当時は実家で父親の介護を抱えてい

かつては実験室にこもる仕事が多く、人前で話すことは苦手だった。でも、ここでは来館者と接する機会が多く、だいぶ鍛えられました(笑)。

科学とは研究の世界だけにとどまらず、身近な人の生活に役立ってこそ生かされるもの。そうした科学の世界と社会との接点が博物館であり、一般の人にも親しんでもらえるような形で伝えることが、学芸員の役割だと思っています。

私は四五歳で学芸員になったけれど、それまで大学や会社で培った知識は決して無駄ではないはず。少し遠回りしたようでも、ずっと自然科学に携わってきた経験はこれからも生かしていきたいですね。

2012



科学館の吹き抜け空間を泳いでいるような首長竜。9,000万年前の化石の下で進化の歴史を解説する

## 「体感」できるミュージアム

科学館とは自然科学に関する展示を行う博物館。生き物や地学、宇宙、エネルギーなど、テーマはさまざま。近年では展示されている資料を見るだけでなく、「手で触れて、遊んで、学ぶ」という体験型の展示が、新しいミュージアムに定着しつつある。「蒲郡市生命の海科学館」は、生命誕生の源である「海」をテーマに、地球46億年の歴史を紹介するミュージアム。本物の隕石や化石に触れて、CGなどのマルチメディア技術を駆使した展示解説やミュージアムシアターの3D映像を楽しみながら、生命進化の過程を学ぶことができる。3月のリニューアル後は科学遊びのコーナーや体験型アイテムが増える。

愛知県蒲郡市港町17-17 ☎0533-66-1717  
<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/>

